

議会報告会報告書

開催日時	平成30年10月18日（木）午後7時30分 終了：午後9時	
開催場所	笠間公民館	
対象団体	笠間地区振興協議会	
参加人数	50人	
班構成	A班	田代敬子 山口俊哉 吉本史宏 岡本克行 吉田郁夫 藤田政樹 (欠席 大屋潤一)
役割分担	挨拶：藤田政樹、司会：田代敬子 報告：議会改革／岡本克行、総務企画／吉本史宏、文教福祉／山口俊哉 産業建設／岡本克行、特別委員会／吉田郁夫	

(質問1)

議会報告会は平成25年から始まっているが笠間地区は初めてだ。市内3校下ほどずつやっていくのか。

(答 弁)

決まっていない。こういう機会は人が集まらないことは事実で、地区振興協議会などをお願いしてやっているのが現状だ。笠間地区が特別おそいとかいうことではなく、これを機会にまたお願いしたい。

(質問2)

白山車両基地を核としたビジターセンターの建設案が浮上している。現実にはどんな予算がつくかわからないが、市の計画のもとに建設してほしい。ビジターセンターの建設にあたっては、加賀笠間駅の利用が大きなウェイトを占めるので、駅をリニューアルしてバリアフリー化してほしい。また、駅にJRの月極駐車場はあるが市の月極駐車場が一つもない。

(答 弁)

エレベーターを含めた加賀笠間駅のリニューアルとビジターセンター、西松任駅、白山総合車両所の4つが自民党与党のPTで協議されることになっている。市もめぐーるを含めた公共交通の体系を考えていこうということで、新たに協議会を設けている。

(答 弁)

議会としても執行部共々なんとか車両基地を活用して観光産業に力を入れていきたい。西松任駅あるいは加賀笠間駅のリニューアルを含めて、早く自民党のPTの中で結論が出て、政府の中でビジターセンター等を含めた予算化されるようPTに要望をかけていきたい。JRは県のIRにかわるが、駅が新しくできればその周辺地域は発展して、住宅団地あるいは商業地もできてくると思っている。

(質問3)

白山市は地盤がよく水も豊富で交通の利便もあり、太平洋側の企業の代替え地としてぜひとも議会としても力を入れてほしい。

(答 弁)

白山市では既に企業誘致の場所がなく、企業誘致の工場造成の指定地を新しくしていかなければならないところだ。国道沿いを見ても、民間がかなり大きな造成をかけており、早く場所を決めて新たな工業団地の造成に入っていくことが大事だ。

(答 弁)

企業は順番待ちになっている。市あるいは県の考え方では、市街化区域から埋めなさいということになる。マスタープランの中でも企業誘致の場所として、適しているとされる場所がいくつかあるが、首を縦に振らない地権者もいる。これからは地権者にまず相談をして、地域の方と一緒にまちづくりを考えていくという方法のほうがいいという意見も出ている。来年からのマスタープランも始まるので、地域の皆さん方と場所等については相談されてはいかがかと思う。

(質問 4)

白山市のきれいな田園地帯の環境に適した計画性をもった工場誘致をしていただきたい。

(答 弁)

企業誘致について、来年度からマスタープランの関係で執行部のほうが地区をまわりながら相談に入っていくと思っている。特に笠間地区は団地もあり、企業がいくつか順番待ちということも聞いている。企業誘致に適した場所を現在は調査中であると聞いている。

(質問 5)

旧笠間校下は簡易水道で繰り出し基準の見直しということになると赤字かと思う。事業を進めていけば、経費もかかり補助金をもらっても半分ぐらいということになれば、1トン当たりの単価が高くなると赤字に転じないのかと思う。その辺の見通しはどうか。

(答 弁)

水の配給もそうだが、下水も千代野処理場、倉部処理場、川北町の一部し尿処理場を松任のほうに集中させるということで担当課は整備を進めている。料金体系は今のところ高くなるということは聞いていない。

(答 弁)

美川のほうは、公共下水道は能美市にある県の翠ヶ丘浄化センターのほうで処理をしており、手取川地下の管路を通ってもっている。県のほうで審議会を開いて単価を決めるが、単価は白山市の標準化という単価設定を決めた中で、やっていくということになっている。

(質問 6)

笠間公民館の横に忠魂碑があるがいずれ老朽化する。壊すだけでも何百万かかる。今は問題ではないかもしれないが、将来はそういうことがあるということを頭に入れておいてほしい。

(答 弁)

忠霊顕彰会もあるので、御意見として承る。

(質問7)

10月8日にまちづくり塾が開催されたが、勉強会だけかと思っていたら次の日新聞を見てキックオフということになっていて驚いた。地区の発展とか全部含めて予算化していくと思うが、3年から5年、もしかしたらそれ以上の期間を責任をもってやらないとできないと思う。そういうことに対して議会と執行部との兼ね合いやフォローはどうなっているのか。

(答 弁)

塾生に登録されると平成32年の3月いっぱいの1年半近くの任期になると聞いている。市長を先頭に協働のまちづくりを訴えてきた流れの一環だと思っている。いま試行錯誤でスタートした段階だろうし、一期生の塾生の方々がどんなふうに学んで広がっていくのか注視している段階だ。

(質問8)

SDGsは2030年までに目標を持ってやっていこうということで、これから30年後は日本の人口は25%くらい減って9000万人を切るというような予測が出ている。白山市は25%も減らないかと思うが、山ろくみたいなところもあって、そういったところの人口減少も結構大きくあると思う。30年先を見据えた未来都市づくりを考えていくように執行部にはしっかり言っていただきたい。

(答 弁)

SDGsのようなものを柱に将来夢のもてる地域づくり、夢を住民が持っていただくことがベースだろうと思う。議会も執行部に対して、将来ビジョンを打ち立てて、地に足のついた計画を立てていくことを求めている。

(質問9)

教職員の残業について、部活動の日を減らして残業が減ったということだが、部活動をやっている子供たちにとっては一生懸命頑張って上位の大会に出てという思いもあるのではないかと。時間外の中身をしっかりと調査をして、事務作業を減らせるならそういうところを減らして子供と向き合う時間を確保できるようになればいいと思う。

(答 弁)

部活動については中学校の残業の多くが部活動で、地域やスポーツ少年団、体協関係など学校の先生ではないところで頑張っていてほしい。学校の部活動だけでは限界があって社会体育で補う部分は大きいと思う。

小学校の勤務時間外で多いのは授業の準備だ。先生が少ない中でひとりの先生の持ち時数が多くなっていてその準備が大変だということがある。事務作業も昔から見ると多くなっていて、減らしていく方策がないか委員会で話をしている。

備 考